

◎司会進行 事務局

【事務局／開会】

- 本日の会議資料、委員の出席状況を説明
会議の進行を会長へ

【会長／挨拶】

- 会長より挨拶
第2回の北斗市総合戦略検討・推進会議を始めていく。
次第に従って進めていくが、今日の議事は大きく3つある。
今回の会議の設置の最大のポイントが総合戦略の検討であることから、今日もこの部分に時間を割いて進めてまいりたいと思っている。

◎司会進行 会長（会議終了まで）

【会長／議事】

(1) 骨子案に対する各委員からの意見について

- 事務局から、資料1に従い説明

(2) 北斗市・人口ビジョン〔1次素案〕について

- 事務局から、資料2に従い説明
<質疑応答なし>

(3) 北斗市・総合戦略〔1次素案〕について

- 事務局から、資料3に従い説明
基本目標ごとに事務局より説明、その都度各委員に自由に意見を述べていただいた。

〔基本目標1〕について

発言者	発言内容
会長	観光産業というのは、従来はサービス業に含まれる狭い範疇で考えられており、産業連関表を使うとわかりやすくなるが、非常に幅広い産業セクターとの関連性がある、それぞれを振興するのに非常にいい産業のくくりだという認識になっている。 国も様々な政策の中で観光に結び付けた地域全体の振興についての提言を行っている。
委員	I T企業とは具体的にどのようなものをいうのか。 特に工場などを持つような会社ではなく、パソコンと向き合って仕事を行う会社ということか。 七飯町のルネサスもI T企業となるのか。

事務局	<p>I Tは起業しやすい環境、要するに通信網（インフラ）が発達しているため、特定のエリアでなければ起業展開ができないものではなく、全国的にどこであっても仕事が成り立つという特性がある。</p> <p>これは空き家等の対策とも関連するが、さほど大きな規模の事務所でなくとも事業所の起業化後の展開が可能となる。</p> <p>I T関係の特徴を踏まえると、有効ではないかと考えている。</p>
会長	<p>情報通信環境というものは、ものすごく整備されている。</p> <p>それによりどこでも仕事ができるという形になっている。地方での起業やサテライトオフィスを置くということを想定されているのではないか。</p> <p>情報通信産業ととらえると、ルネサスもI T企業ととらえることができる。</p>
委員	<p>九州の方でI T産業の誘致で成功しているという事をよく聞くが、具体的にI T企業のめぼしがあって、事業を提案されているのか。</p> <p>企業が地方に本社を移したいなどという情報などはないのか。</p>
事務局	<p>特定のめぼしがあるわけではない。あくまで構想レベルの中で、全国的な状況を見ていくと、このようなものも取り込んでいければと考えている。</p> <p>具体的な情報はないが、I T関連であれば会社の規模は大小様々である。それらの受け皿になっていきたい。</p>
委員	<p>総合戦略の中で林業についてはあまり触れられていないのだが、戦略に書かれた事業の6割でも7割でも実施していけると良いのではと思っている。</p> <p>ただ、やはり人口が減少しているので、特に企業の誘致と地元で家を建てて住んでもらいたい。</p> <p>前回会議の意見として、地元で多くの森林、海、田園地帯があり、住みやすい市であることから、多少金額がかかっても、助成しながらどんどん家を建てて、Uターン、Iターンしてもらいたいと述べさせていただいている。</p>
委員	<p>前回の会議でもお話ししたが、若者がなかなか跡を継いでくれないということがある。</p> <p>北斗市は、函館市、旧南茅部地区に比べ、水産加工場といった処理施設の工場、雇用の場が少ない。</p> <p>漁業に対する就業者支援制度が戦略に書かれているが、これを実行できれば、若い人やまた漁業をやりたいという人に対して、少しでも魅力が出てくるので、水産業界自体が伸びていくのではないかと。</p>
委員	<p>企業誘致する際には、北斗市内で仕事をしていて、何かあっても首都圏にもすぐ行けるということを含めPRするのもよいのではないかと。</p> <p>また、企業誘致は全国で考えられていると思うので、先手を打って早めに企業のリストアップを行い、進めていくべきではないかと。</p>
事務局	<p>北斗市の利便性は、交通の便から見て非常に高いと考えている。新幹線が札幌延伸となると1時間弱で行くこともできる。</p> <p>また、空港までのアクセスが完成すると、ますます利便性が高まっていくことから、いろんな場面で、総合戦略に限らず先手を打っていく必要があると感じている。</p>
会長	<p>道内の他の自治体からの話として、道南は新幹線もあれば飛行機もあり、船でも物流が</p>

	<p>しっかりしているとよく言われる。</p>
委員	<p>首都圏の行き来ということから行くと、この地域は優位性が高い。</p> <p>ただ、今般の新幹線開業の企業誘致のところ、苦勞されているところを見させていただいた。</p> <p>駅前の開発をされている中で、うまく進まなかった理由をしっかりと認識したうえでなければ、ITの誘致というものにも同様の課題が出てくるのではないかと考えている。</p> <p>市単独でITの企業誘致をしていくべきなのか。</p> <p>函館市も先般、IT企業の誘致を進めていくといわれていたので、別々に誘致するのではなく、道南地域全体として検討してもいいのではないかと。</p>
委員	<p>観光の形もだいぶ変化しており、今は着地型に特化してきている。</p> <p>大手も旅行会社でも着地型に傾斜した商品を用意してきている。</p> <p>特に新幹線が来ているという中では、道南というのが一つの条件、全国に対して勝負するという形では、それぞれが連携した中で色々なプロモーションなどを進めることが有効である。</p> <p>過去、北斗市は通過型の観光が多かったことから、なかなか消費が伴って観光地を回るという事ではなく、観光地での消費につながらない。</p> <p>第1次産業の漁業や農業と観光客の体験型観光を結び付けて、消費を作っていくという事が大事である。</p> <p>その中で函館市と北斗市が連携しながら、修学旅行の誘致を図るとというのが、可能性が高い分野だと思っている。</p> <p>今後は首都圏、北関東、東北の都市から北海道に観光に来る修学旅行の皆さんが体験観光として農業、漁業を体験しながら道南を楽しむといった、旧所、名跡を回るだけではない体験型を推していく中では道南が連携していくといったことが有効である。</p> <p>プロモーション活動でもそういった方向で今後展開していくことが好ましい。</p>
事務局	<p>観光については、広域的な取り組みというものには様々な形でやっていけるのではないかと考えている。</p> <p>反省点を踏まえながら、今後の企業誘致を考えていかなければならないし、素案の中ではITと書かれているが、それだけではなく様々な企業誘致という形の中で取り組んでいかなければならない。</p> <p>広域的な企業誘致については、それぞれの自治体において都市計画に基づいて指定をした中で、企業誘致を行っていることから、広域的に誘致を行っていくという事は簡単ではなく、話し合いもなかなか難しいという事が現状である。</p> <p>北斗市ならではの誘致施策を考えていかなければならないと理解している。</p> <p>連携としては、現状として情動的な交換というものが行われている程度である。</p>
委員	<p>IT企業との関係では、函館市において、「クロス・コミュニケーション」の誘致に成功している。</p> <p>また、実践型雇用創造事業（パッケージ事業）も函館市で今年採択されており、何百人を雇用するという事になっている。そういう事業も積極的に活用した方がよいのではないかと。</p>

[基本目標2] について

発言者	発言内容
会長	総合戦略の中で国がよくいうCCRCに関する項目を挙げていないのは、何か理由があるのか。
事務局	高齢者を含めて全世代を対象にした移住を進めていきたいと考えているためである。
委員	<p>空き家の再利用は大変ではないだろうか。空き家の近隣の人の意見などを聞いたりするなど、とても繊細なテーマだと考えている。</p> <p>日本人にしても外国人にしても、自分の生活しているエリアに新しく人が入ってくると、抵抗があるのではないか。</p>
事務局	<p>委員がお話ししたことは、移住を進めていくうえでポイントとなっていく部分と理解している。北斗市を選んで、興味を示してきていただく方を市として受け入れる意識がないと、なかなか進めていけない。</p> <p>実際に進めていく中でも、この辺を踏まえて仕組み作りをしていかなければならない。</p>
会長	<p>どのような人が来るのかわからないという不安があり、実際問題として難しい。</p> <p>空き家バンクは、行政が直接という事ではなく、何かしら仲介をする方がいて、信頼を担保する仕組みなど工夫を考えられているのか。</p>
事務局	<p>空き家バンクもどういった体制で進めていくのか、まだ詳細を詰めていない。</p> <p>ただ、情報を出す側と求める側、供給と需要の関係がきちんといかなければ難しいと思っており、ニーズを的確に把握するところからやっていかなければならない。</p> <p>北海道も支援窓口を設けているので、そこの連携や、色々な要望にあったものを提供できるかどうか判断していかなければならない。</p>
委員	<p>移住コーディネーターについては、人材面では民間を始め、他との連携を予定しているとの答えであった。</p> <p>伊達市など移住を前面に押し出しているところでは、職員に移住コーディネーターに近い役割を担える人材がいるようである。</p> <p>日本人だけでなく、外国人も受け入れるのか、言葉の面も含めて市役所の方の体制を整えていく必要があるのではないか。</p> <p>1次素案を見ていると、子育て層に対しての手当では厚いと感じる。</p> <p>一方で、親などを介護せざるを得ない状況になると、それをしながら仕事をするという事は非常に難しく、会社を辞めざるを得なくなる。</p> <p>また、介護は子育てと違い、先が全然見えないこともあり、もう一度社会に戻りたいとなったときに、なかなか戻れる雇用の場が難しい。</p> <p>そのため、社会にとっても役に立つと考えられる、40代、50代の人たちの再雇用についても考えてもらいたい。</p>
事務局	<p>窓口については、専門性などは別にして、窓口を置いていくことを考えている。</p> <p>空き家バンクの活用した移住では、空き家つまり不動産、財産に関する権利に関する部分があるので、一つ間違るとトラブルになってくる。</p> <p>そのため、専門の不動産屋などにも体制の中に入れていただき、相談窓口機能の中では力を借りていくことも考えられるので、それを考慮した体制作りを詰めていかなければな</p>

<p>らない。</p> <p>介護ということについては、非常に厳しいことは理解しているが、高齢者福祉、介護福祉では現在の総合戦略では述べていない。</p> <p>子育てや介護を終えられた方、人材が活躍できる場を含めて考えていかなければならないが、それを進めていくためには、そのためには企業側の理解なり人材の求め方にも関わってくるので、具体的に進めていくには非常に難しい。</p>

[基本目標3] について

発言者	発言内容
委員	<p>テレビの番組で婚活に関するものがあるので、活用してみてもどうだろうか。</p> <p>また、市内にはスポーツで能力のある子がいるので、もっとバックアップして、市全体で盛り上げていければと考えている。</p>
会長	<p>函館市では函館アリーナができ、これからスポーツの全国大会が開催されていくことから、交流人口が増えていく。</p> <p>一方、北斗市には、かなでーるという良い施設があり、地域全体としても吹奏楽に取り組んでいる。</p> <p>拠点施設があるので、教育環境づくりとして色々な施策の可能性はあるのではないかと。小中一貫校を文部科学省が法制化し整備していくので、積極的に取り組んでいく自治体が増えていくのでは。</p> <p>地域において、積極的に学校がコンパクトにまとまっていくようなことについて何年か議論される。</p>
委員	<p>周りの環境でも、共稼ぎ家庭が増えているというのを聞くと、子どもが一人、二人で十分という方が多い。</p> <p>その中でも、医療費の助成、児童手当等をもっと手厚くするといったもののほかに、若い世代が北斗市に結婚して転入する、子どもが生まれて転入するといった方への助成金を厚くするというようなものがよいのではないかと。</p> <p>かなでーるの音楽設備がとても素晴らしいし、またスポーツ施設についても全天候型陸上競技場なども活用できる状態にある。</p> <p>スポーツ施設や音楽設備に対しての大会誘致などは、市からのPRなどを積極的に行っているのだろうか。</p>
事務局	<p>かなでーるの文化活動、吹奏楽については、大ホールを各種大会の練習という事で近隣の学校に相当よく使われている。</p> <p>そのようなことを考えると、吹奏楽を絡めた文化合宿とすれば、スポーツ合宿のように遠方から大々的に呼ぶというよりは、近隣からいさりび鉄道に乗っていただき、合宿していただくという事をやっていただければ、それに対する優遇制度を設けることによって、波及的な効果を含めてあるのではないかと。</p> <p>本格的な遠方から来る合宿も含めてやることによって、大会等への機運につながっていけば良いと考えている。</p> <p>市から積極的なアピールはしていないが、現状がそのような使い方がされている。</p>

	なお、婚活事業については、農業後継者対策でカップリングパーティーをやっている経緯がある。
--	--

[基本目標4] について

発言者	発言内容
会長	北斗市の姉妹都市は何か所あるか。
事務局	姉妹都市は一つも提携していない。なお、都市間交流は姉妹都市交流に限らず様々な友好交流など色々なスタイルがあると考えている。
委員	茂辺地・石別地区の地域振興について、なぜこの地区だけ特出しされているのか。
事務局	茂辺地は、町医者がいたのだが病院がなくなってしまい、スーパーも撤退しており、いろいろな機能が失われているということでの課題がある。 そのため、この地域をもう一つ活性化していく必要がある。 それによる他の地区の市民の皆さんからの批判というものはないと考えている。
委員	コミュニティということで、自分の町内会では季節限定で11月から3月までコミュニティ広場というものを行っている。 これにより、これまで以上に地元の人とのつながりができてきている。 このようなものが市内の町内会に広がっていけばよいと考えている。 難しいことをやろうとすると、なかなか人が集まらない。 誰もが簡単に理解してもらえるような言葉で話していかないといけない。
会長	移住の関係でいくと、新しい人が地元に入ってきて、町内会の方がうまく中に入っていけるようにしているのだろうか。
委員	新しい人が入ってくると、近所の人から率先して声掛けをしている。 隣近所の人づきあいでサポートしている。

【会長／議事まとめ】

前回同様、委員の意見を取りまとめられるような集約の場を設けていただきたい。

【事務局／その他】

今後の会議のスケジュール・進め方について説明する。

【会長／閉会】

本日の会議を終了する。